

## 文教環境常任委員会 規制改革に関する提案

R2.11.21 長野県

## 1 教育関係

## ○ 新時代にふさわしい高校教育

## 目指す姿

学校現場の自由度を高め、GIGA スクール構想の下で、生徒一人ひとりに応じた個別最適な学びを実現する。

## 提案

- ・高校の全日制課程の修業年限（一律3年）について、卒業後の大学入学時期や個人の学習進度に合わせた設定を可能とする。
- ・学校が教科横断的な授業をマネジメントし、十分な時間を確保できるよう、学習指導要領の「教科・科目ごとの標準単位数」配分の弾力化や「必履修科目」の縮小を検討する。

## 2 環境関係

## ○ 2050 ゼロカーボン実現のための再エネ普及策

## 目指す姿

送配電ルールの見直しや発電事業の開始手続きの簡素化により、再生可能エネルギーの導入を加速化させ、2050年までにゼロカーボン社会を実現する。

## 提案

- ・再生可能エネルギーを普及する上で、送電線に連係するルールを見直し、再生可能エネルギーを最優先に位置付ける。
- ・小水力発電の導入促進のため、水利権許可申請に要する期間（現状、事前協議から許可まで1～2年程度）を短縮する。